

東亜ガス

# コロナ医療従事者を支援

## 高級食パン110本寄贈

東亜ガス(静岡県浜松市、砂子重人社長)は2月15日、静岡県コロナ指定医療機関である磐田市立総合病院(鈴木昌八院長)に同社が運営する「銀座に志かわ浜松広沢店」の高級食パン110本を寄贈した。

この高級食パンの寄贈は、新型コロナウイルス感染症拡大防止や治療に日々尽力している医療従事者の皆さんに、おいしい食パンを食べて少しでも笑顔になってほしいとの思いから行われたもので、昨年6月4日に続いて2回目の寄贈となる。

寄贈した食パンは、銀座に志かわ浜松広沢店で製造販売している水にこだわった製品

で、柔らかさと甘さが評判のもの。今回の寄贈について、砂子社長は「コロナ禍は予想以上に長引いている。この状況下で自分たちに何ができるのかを考えたいとき、一番大事なのは地元の医療機関で頑

張っている皆さんを励ますことではないかと思つた。今回で2回目の寄贈だが、予想以上に喜んでもらっているようにうれしい。今後も、このような支援活動を継続していければと考えている」と語つ



砂子社長(左)と鈴木院長(中央)

ている。また、寄贈を受けた磐田市立総合病院は「このような温かいお気持ちに心から感謝したい。おいしい高級食パンを食べて一息つき、引き続き安全、安心な医療を提供して行きたい」とコメントしている。